

臨床研究に関するお知らせ（1022）

【研究課題名】

Chatelut 式でカルボプラチン投与量を算出した TC 療法による血小板減少の危険因子の解析

【内容】

婦人科癌に対するパクリタキセル（PTX）・カルボプラチン（CBDCA）併用療法（TC 療法）は良好な治療成績が報告されています。TC 療法による効果・副作用（特に血小板減少）は CBDCA による影響が強く、一般的に CBDCA 投与量は Calvert（Cal）式を用いて算出します。しかし、Cal 式では CBDCA が過量に算出されるという報告もあり、当院婦人科ではそのエラーを改善するために、Chatelut（Ch）式を用いて算出しています。Ch 式で算出した CBDCA 投与量と血小板減少の関連についての報告は少なく、それらを明らかにすることを目的として調査研究を実施します。

【対象】

2009 年 3 月から 2010 年 8 月の期間中に、当院婦人科で TC 療法を実施された方が対象となります。

【方法】

カルテ情報の調査を行い、TC 療法において血小板減少に影響を与える危険因子について調査します。

この調査の対象となる方にご協力いただけるかどうかは自由意志です。もし、お断りになられたとしても、あなたの不利益になるようなことはありません。

調査の対象となっている方で、この研究への参加を希望されない場合には、2011 年 7 月 31 日までに金沢大学附属病院薬剤部 崔（さい）までお知らせください。

2011 年 2 月

金沢大学附属病院薬剤部
研究実施責任者 崔 吉道
電話 076-265-2046 (直通)